

ペガ魂（超低クオリティ）

宇佐エン

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

身内ネタです。銀魂が元になってますがキャラが全然経ってないので銀魂好きの皆様は見ない事をオススメします。

# 目次

少年の心はやっぱり大事だから取っておこう

1

少年の心はやっぱり大事だから取っておこう

ここは江戸時代、しかしこの時代の江戸は天人と言う宇宙生物により支配されてしまった。

廃刀令により、侍は命である刀を失い、権力を失い、ただの剣術が出来るオッサンに成り下がってしまった……

しかし、そんなこの時代に超熱いな侍の魂を持った男(超B A K A)が居た。

その男の名は阿羅太郎、阿羅が名字で太郎が下の名前。

阿羅太郎は剣術道場の息子、首領(ドン)家のパッチ(クソ雑魚ブルッコリー先輩並に弱い)と夜兔族で自称宇宙1の美少女たおちと一緒に万事屋を経営している。

た「おーい、阿羅ちゃんカブトムシ取りに行こうよ」

阿「今どきガキ事てえにカブト何て取りに行けねえの！もう少年のような純粋な気持ち持ってないの！」

ぱ「たおちちゃん、僕らもう大人なんだからカブト狩り何て子供みたいな事出来ないよ」

た「やだあやだあカブトカブトカブトカブトカブトカブトカブトカブトカブトカブトカブト！」

TV「次のニュースです。裏にある天馬山で伝説のホモカブトを捕獲したとの事です！早速、捕獲したイケニャンさんに話を聞いてみましょう」

イ「いやあまさに奇跡でした。これを売ったら何方になるか楽しみです！(´・`▽´・)ニタア次は何を水に濡らそうかな(´・`▽´・)ニタア」

TV「はい、それでは次はお天気です」

？阿羅さんが震えてる？いくら好きなアナウンサーがニコニコしながら人にインタビューしてるからって……いつもは一時停止(無理やり)させてTVに1時間以上キスしてるだけなのに……

阿「カ、カ、カブト狩りだああああ！思いだしたぞ！俺は！少年の心を！R18って言葉を聞くだけで友達と一緒に興奮してたあの、少

年時代の魂をおおおお！」

……なんだと思つたらそういう事か、さっきのニュースを見て金に目がくらんだのか、だから目が金になつてるのか。はあ呆れたこれだから阿羅さんは……

た「どうした？阿羅ちゃん？」

ぱ「たおちちゃん、ああなつた阿羅さんを止めるのは無理だ、仕方ないから一緒にカブト狩りしよう。」

た「やったあやったあ、カブト狩りネ！」

ま、たおちちゃんも喜んでる事だしまあ良いか

そして僕達万事屋は裏にある天馬山へと向かった……

阿&た「カブトおおおお！出てこおおおおおい！」

ぱ「何やつたんですか2人とも、そんなんじや寄つてくるどころか遠ざかって行きますよ。」

た「あ！あれ何だ！」

ぱ「あ、ちよつとたおちちゃん、1人で行くと危ないよ。」

そして僕達が目にしたものは……